

検討テーマ「地域で支える介護～私たちにできること～」ご説明資料

平成 29 年度 札幌市行政評価 市民参加ワークショップ

行政評価 市民参加ワークショップにおける検討テーマ選定理由

平成 29 年 7 月 1 日現在、札幌市の高齢化率は 25.8%となり、平成 37 年には 30.5%になると予測されています。

このような超高齢社会において、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けていくために、札幌市を含む全国の自治体では、介護・予防・生活支援・医療・住まいを包括的に確保する体制である「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。

「地域包括ケアシステム」構築のためには、介護・医療などの専門職によるサービスと地域住民同士での支え合い＝互助が両輪となります。

札幌市行政評価委員会では、市民の皆様「地域住民同士での支え合い＝互助」の取組としてどのようなことが考えられるか、そして、それを踏まえて札幌市がどのようなバックアップを行うべきかお聞きしたいと考えております。

このような観点を踏まえ、市民ワークショップで検討いただくテーマとして「**地域で支える介護～私たちにできること～**」を設定いたしました。

行政評価委員会・市民参加ワークショップの役割・位置づけ

行政評価委員会について

市の施策・事業等を第三者の視点で評価する札幌市の外部機関で、市役所外部の専門家から構成されています。

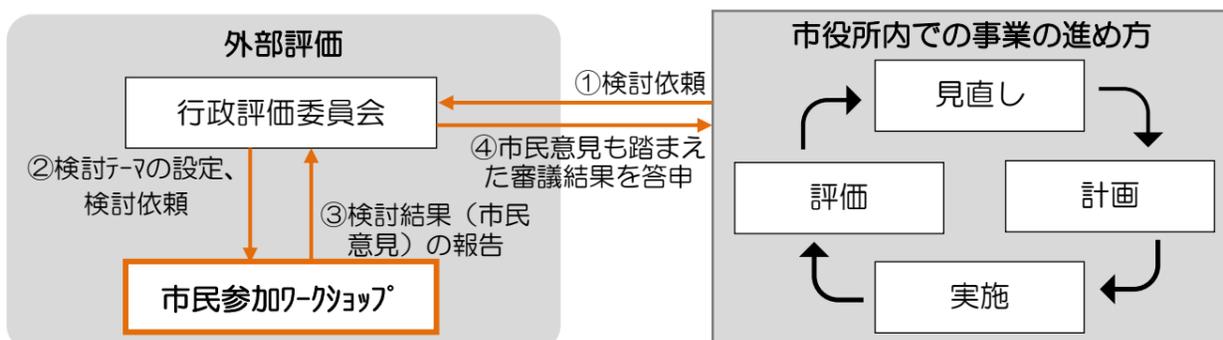
札幌市が行う事業の必要性や効果、課題や改善策について、行政では気づかない点について審議・評価するのがその役割です。評価の結果は、事業の見直し・改善に活用されます。

市民参加ワークショップについて

行政評価委員会で審議するテーマの中から、特に市民生活と関わりが深く、**市民目線・市民感覚で議論することが必要と考えられるテーマについて、一般市民の方々からご意見を聞きするために実施するものです。**

市民ワークショップで出された意見は、行政評価委員会での審議に活用されます。

■行政評価の仕組み



市民参加ワークショップについて

ご検討いただくこと

検討テーマ「地域で支える介護～私たちにできること～」を踏まえ、

- ・ **自分でできる日頃からの備え**
- ・ **となり近所の支え合い**

について、ご意見をいただきたいと思ひます。具体的には次の流れでご検討いただきます。

- 第 1 回ワークショップ (8 月 26 日〔土〕):
地域においてどのような取組が考えられるか (アイデアの抽出)
- 第 2 回ワークショップ (9 月 9 日〔土〕):
アイデアを実現するため取組と目標を設定

重要!

第 1 回ワークショップまでにお願ひしたいこと

1. 本説明資料・同梱資料をよくお読みください:

ワークショップでは、ご説明や質疑応答の時間はなるべく短くして、皆様からアイデア・ご意見をいただく時間を長くとりたいと考えています。そのため**お送りした資料をよくお読みください。**

2. 事前質問票をお送りください:

お送りした資料等をお読みになり、検討テーマに沿った札幌市の取組、行政評価、ワークショップについて何かご質問・疑問点があれば、同封の事前質問票にて **8 月 18 日 (金) まで**にお寄せください。第 1 回ワークショップにて回答申し上げます。

なお、第 1 回ワークショップでもご質問の機会を設けますが、話し合いの時間を長く取るため、**ご質問はなるべく事前質問票にてお寄せください**ますようお願いいたします。

3. 第 1 回ワークショップで出す意見を考えておいてください:

「自分でできる日頃からの備え」、「となり近所で協力できること」のアイデアを考えておいてください。事前質問票でお送りいただく必要はございません。

ワークショップの進め方

- ・ご参加の皆様には 7~8 名程度のグループに分かれていただき、専門のテーブルファシリテーター (司会者) の司会・進行により、話し合いを行っていただきます。
- ・模造紙やふせん、シールなどを使った作業を通じて、気軽な雰囲気の中、話し合いを進めていきたいと考えています。